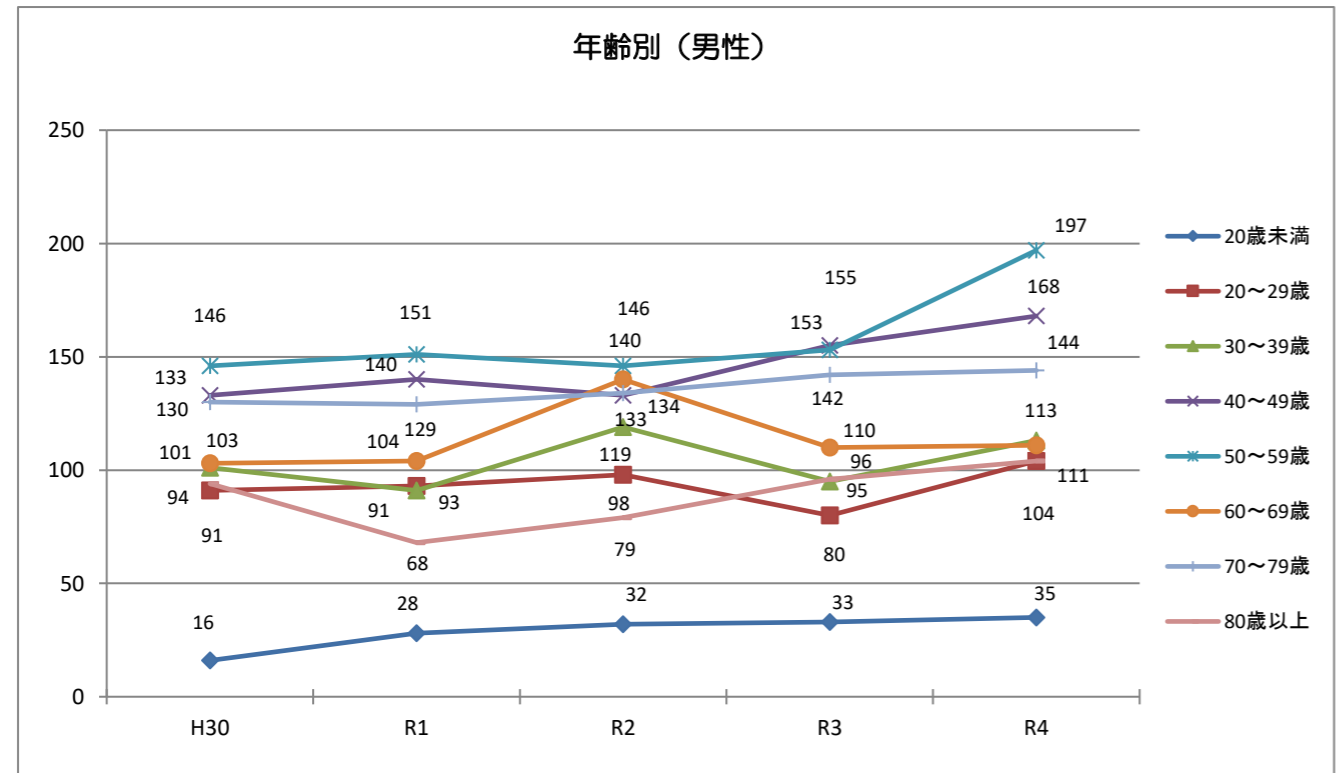
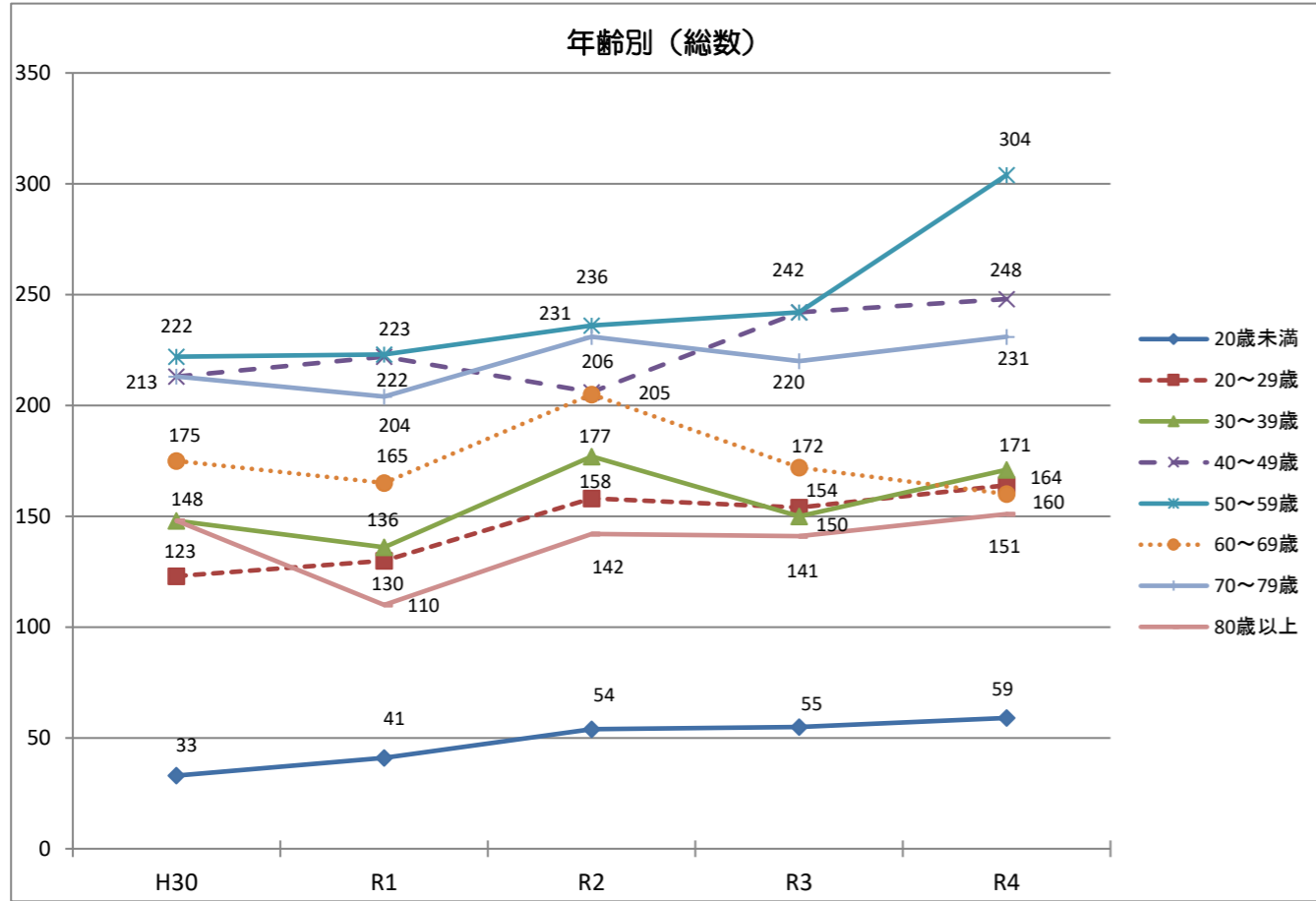
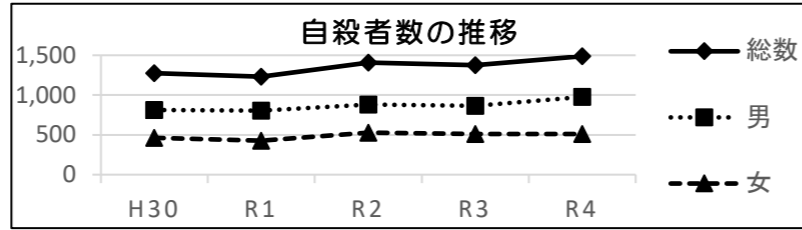


大阪府の自殺の状況(平成30年から令和4年)

	総数	男	女
H30	1,275	814	461
R1	1,231	804	427
R2	1,409	881	528
R3	1,376	864	512
R4	1,488	976	512

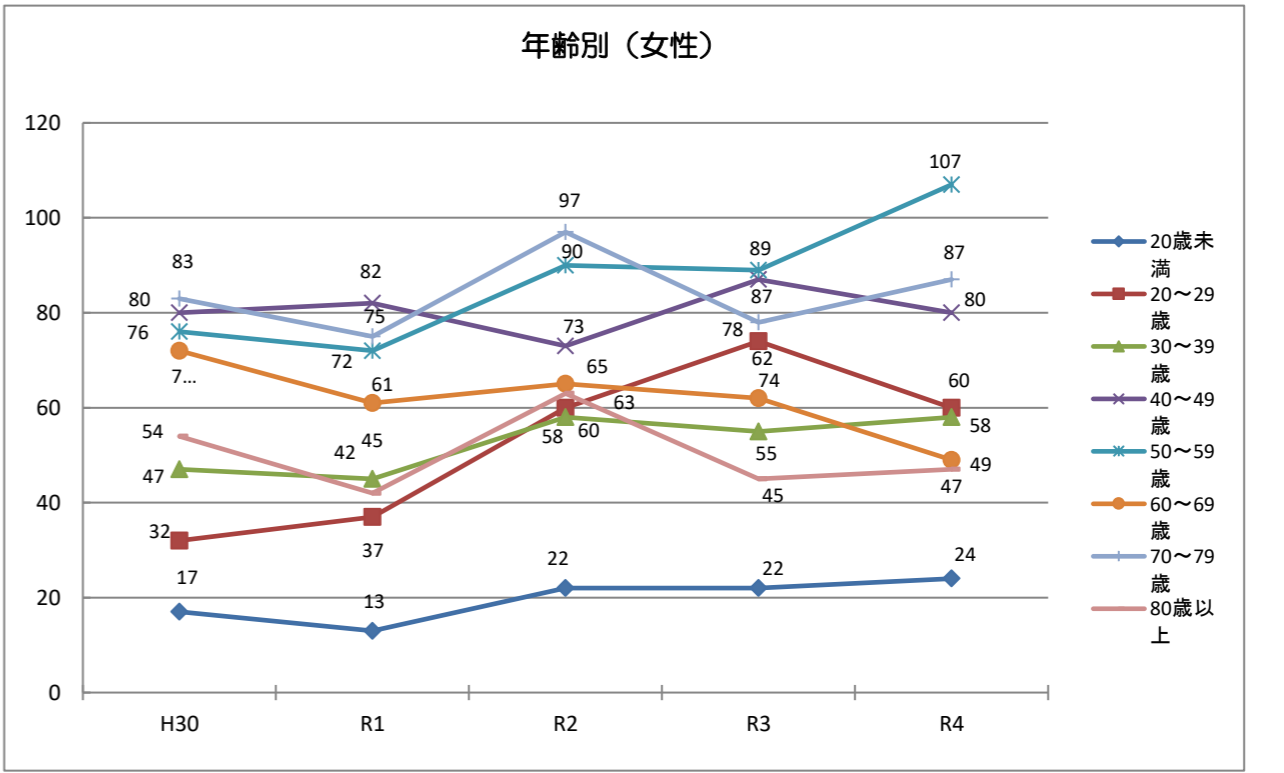


【自殺者数の傾向】
 ○令和4年の自殺者数は前年と比べて増加。(全国も同様)前年より112人増の1,488人であった。
 ○男性は112人増加(対前年増減率+13.0%)、女性は増減なし。
→過去5年間を見ると令和2年に増加に転じ、令和3年は令和2年に比べ減少したが、令和4年は再び増加し、令和2年より多くなっている。

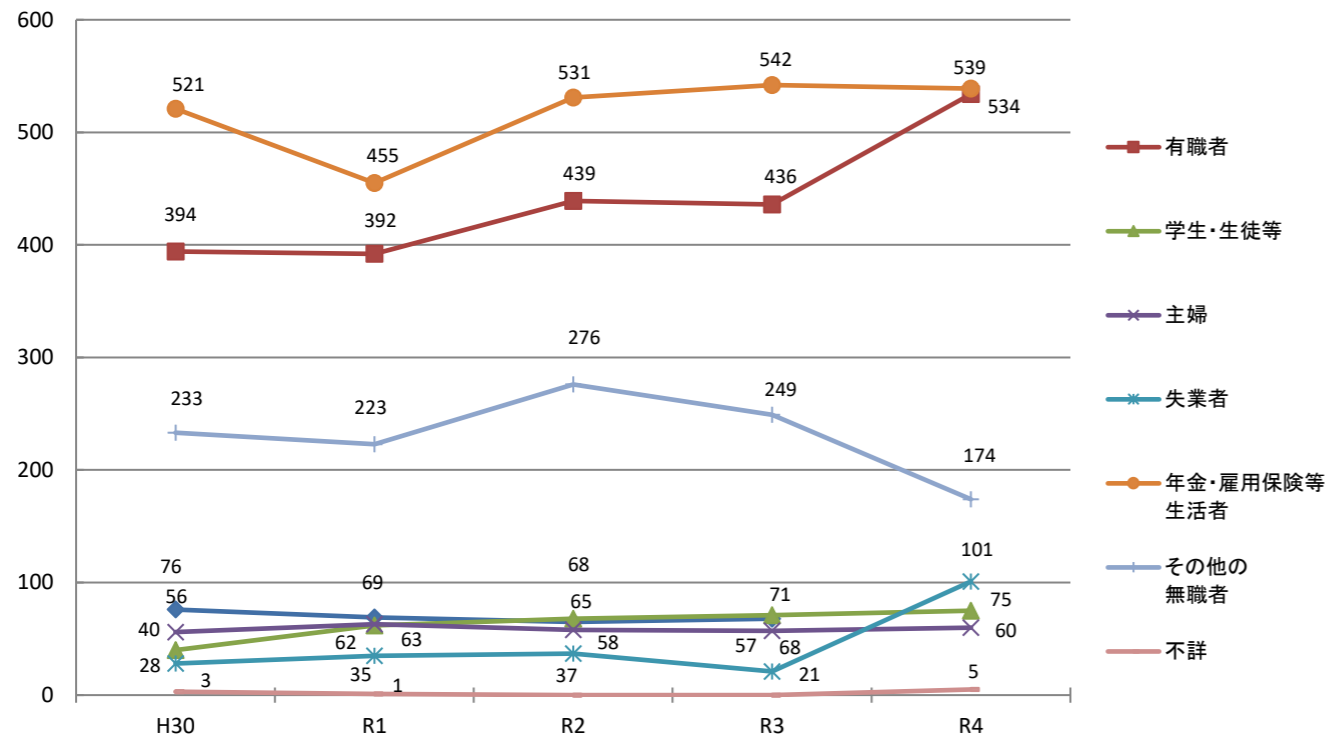
【自殺者の傾向・年代別】
 ○男性は全ての年代にて増加した。特に「20~29歳」「50~59歳」は前年から大きく増加した。
 ○女性は「20~29歳」「40~49歳」「60~69歳」で減少、それ以外の年代では増加した。特に「50~59歳」は前年から大きく増加した。
→男性の20代、50代が大きく増加した。39歳以下の自殺者が全体の4分の1を占めている。

【自殺者の傾向・職業別】
 ○令和4年1月から集計方法が変わり「自営業・家族従業者」と「被雇用者・勤め人」を合わせて、新たに「有職者」という項目ができた。
 ○男性の最多は「有職者」(407人)「年金・雇用保険等生活者」(332人)、女性は「年金・雇用保険等生活者」(207人)、「有職者」(127人)の順に多くなっている。
 また、男女合わせた「失業者」(101人)が前年(21人)より大きく増加している。
→失業者が大きく増加した。有職者も前年より98人(22.5%)増加している。

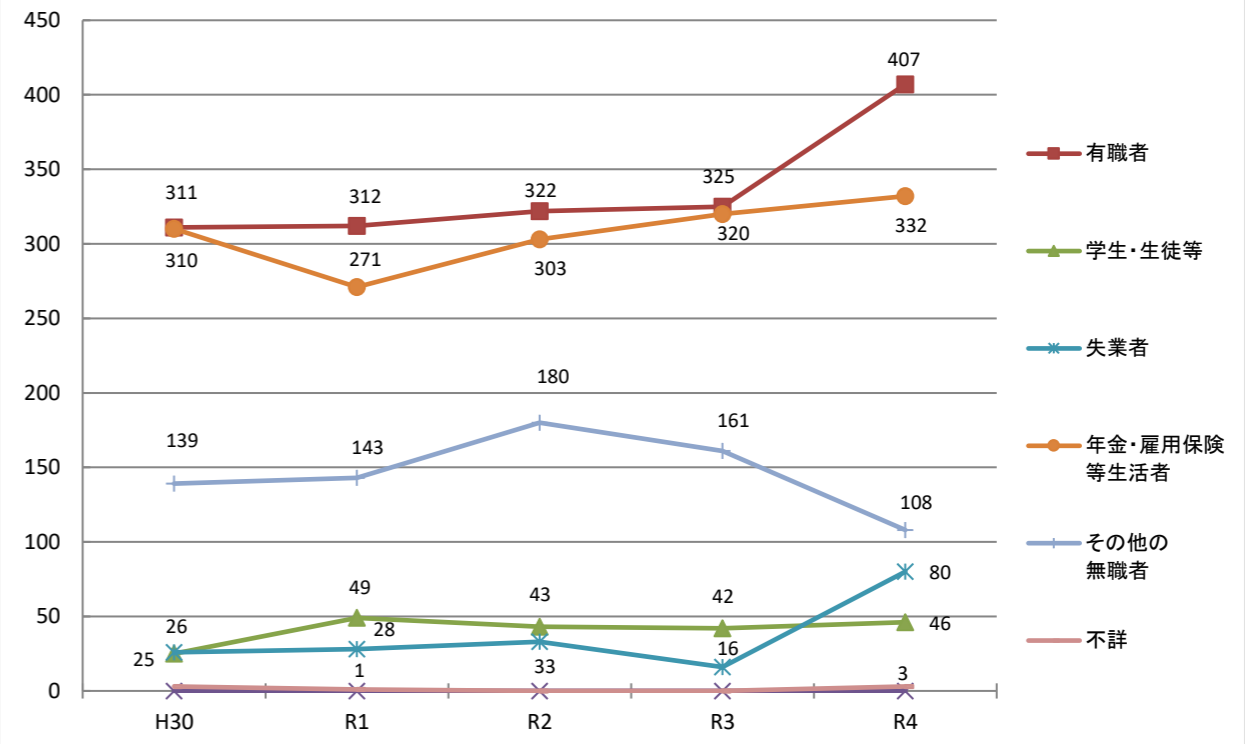
○「学生・生徒等」については男性が前年より4人(9.5%)増加した。令和30年から令和元年で倍増した後、高止まり状況。女性は令和元年から令和2年で倍増、同じく高止まり状況が続いている。
【自殺者の傾向・原因・動機】
 ○健康問題が最も多く、次いで経済・生活問題、家庭問題の順となっている。



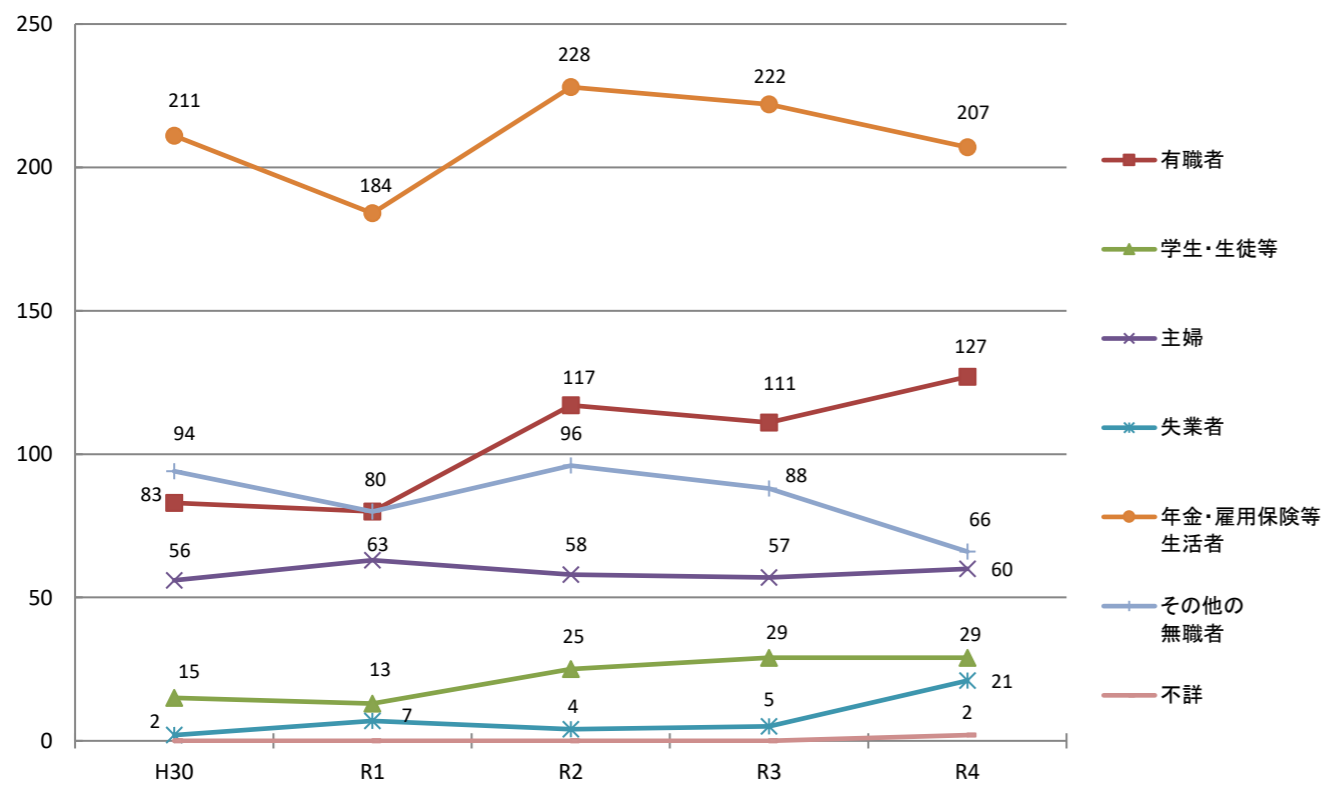
職業別（総数）



職業別（男性）



職業別（女性）



原因動機別（総数）

